

---

# 日輪

無月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」「および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日輪

〔 $\tau$ 〕  
〔 $\Pi$ 〕

N 3 2 4 7 P

【作者名】

無月

【あらすじ】

霧。

ぶつけようのない怒りだけが増殖し、わりと他愛のないことに対し炸裂する。そんなくだらない人生という名の一つの星。何億光年も生きることのないことだけが唯一の救いだ。今や自然の対義語は人だ。この感情は自然なのに、人は自然じやない。矛盾なのか。それとも、これが自然という意味なのか。結論の出ないつまらない人生の、またその中にある、つまらない時間。つまらない。これは、それに對し興味がないわけではない。ただ、満たされないだけのこと。だから、これは普遍的なのだ。多くに当てはまる人類単位の共通項。私は、心を許せるバイクの前に自転車を止めた近所の老婆に対し殺意を持った。でも、殺すわけではない。願うだけ。早く死んでください、とね。今日のネガティブは、すぐに消そう。「もののけ姫」だ。生と死の両極面を持つ神を殺そうとする。全然、意味なんてありはない。死しても神なのだから。キリストが生きてれば信者は増えるかい。いいや、死んでいるからこそその信仰。生きるというのはそれ程までに魅力を失う行為なのだ。私は思う。美しいとは、時間止めなければならない。止まっている物に対してもみ感動を覚える。できれば、このけがらわしい私は生を持ったまま、美しいと感じるものはすべて死まつてほしい。死んだように表情を変えない月を、生を湧き起こす太陽は、日輪によつて復活させる。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3247p/>

---

日輪

2010年12月6日00時19分発行